

保護者さまの様々な不安や疑問を解消します！

キャリア支援 学生一人ひとりのキャリア形成と就職を全面的にバックアップします！

13年連続就職率**100%** ※13年連続就職率100%（就職者数740名／就職希望者数740名）※2025年調べ

学費について 九州トップクラスのリーズナブルな学費!!

初年度納付金 九州トップクラスの学費の安さ!

入学金（県内生） 授業料
10.2万円 + 39万円 = **49.2万円**

※大分県外生は入学金169,200円
※遠方の方など、自宅から通うことが困難な学生のために、少ない負担額で利用できる学生寮をご用意しています。

●寮費：9,500円／月

奨学金制度 厚生労働省による融資制度（技能者育成資金）、給付型奨学金を利用できます。

ものづくり人材修学支援事業奨学金

本校に入学した学生が、経済的理由によって修学を断念することがないよう、原則、返還不要の給付型奨学金制度があります。制度の対象となるか否かは、各家庭の経済状況により変わります。

その他、厚生労働省の技能者育成資金融資制度も利用できます。また、県内には貸与を受けた奨学金の返還条件付で、支援を行っている市町があります。

※詳しくは、大分県立工科短期大学校 学生支援班にご相談ください。

入試要項 募集人員 ●機械システム系…30名 ●電気・電子システム系…30名 ●建築システム系…20名 試験科目 ●推薦入試（高等学校長推薦）：数学（中学までの数学、数1）・面接 ●推薦入試（指定校推薦）：面接 ●一般入試（前期、中期、後期）：数学 ●前年度の試験問題は、学生募集要項及びホームページに掲載しています。

詳しくはコチラから

周辺環境

通学、一人暮らしでも安心できる周辺環境です。



中津駅から徒歩で20分！電車通学もできる！



生活に便利なお店が近所にあるよ！

負担をかけない学費と手厚いサポート。

充実した学びで効率的に夢を手にする。

それが大分県立工科短期大学の

大きな魅力です。

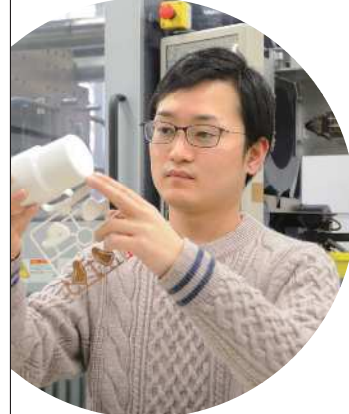
要CHECK!

充実したカリキュラム

2年間で4年生大学と

同等の授業時間

実技・実習に重点を置いたカリキュラムで、企業の期待に応える即戦力の技術者を育成します。



少人数クラス編成

教員1人あたりに

学生数は約6人!!

少人数精鋭教育できめ細かな指導体制。技術と能力を伸ばし、企業からもとめられる人材を育成します。

最先端技術

技術育成に欠かせない

最新設備

ものづくり現場の技術革新に対応できる技能を磨くため、各分野における最先端機器を導入しています。



学費が安い!

授業料は年間39万円!

九州トップクラスのリーズナブルな学費です。授業料及び入学料減免の制度もあります。

高い就職率

徹底した

「キャリア教育」×「就職支援」

「キャリア教育」×「就職支援」を徹底しており、就職活動も個別指導で万全のサポート体制です。県内就職には抜群の実績があります。

大分県立工科短期大学校
ガイドブック

OITA
INSTITUTE
TECHNOLOGY
SPECIAL GUIDE BOOK

その手に職を。

その手に未来を。



見て、触れて、体験し、未来への一歩を踏み出そう!

OPEN CAMPUS

2025年 7月12日(土) 8月24日(日) 2026年 3月22日(日)

昂華祭(学園祭) 2025年11月1日(土)・2日(日) ナイトオープンキャンパス 2025年11月21日(金)

上記以外にも個別で学校見学会を随時実施しています。お気軽にお問い合わせください。

試験日程	推薦入試	願書受付		試験日程	
		前期	後期	前期	後期
		2025年 9月19日(金)～30日(火)	2025年 10月30日(木)～11月14日(金)	2025年 10月8日(水)	2025年 11月26日(水)

キャリア教育・就職支援

大分県立工科短期大学校では、入学直後からキャリア教育に取り組み、職業観や就業意識の形成・向上を図るとともに、一人一人の「個」に合わせた就職・キャリア設計を支援しています。

キャリア教育 × 就職支援 = 職業人としてのヒューマンスキルの育成



キャリア教育

キャリアデザイン入門

経験豊富な外部講師の講演や工場見学などをふまえて、自分のキャリア設計に必要な基礎知識を習得し自身の将来像を描きます。



インターンシップ

本校では、1年次に全員がインターンシップに参加し、貴重な体験を通じて職業意識を高めます。事前にマナー講習を受け、参加後は企業を招いた報告会を開催します。



企業人による特別講義

企業人を講師として社会経済情勢や生産現場の講義を受けます。企業が求める人材・必要なスキル・社会情勢などについて理解を深め、学習意欲・就業意欲の向上につなげていきます。



就職支援

コース制

希望する就職先や職種にマッチしたコース選択をし、就職後に必要となる知識や技術・技能を重点的に学習します。



卒業研究

本校で習得したもののづくりに関する知識や技術・技能を総合的に活用し、実験・設計・製作などを通じて実践力と問題解決能力を身につけます。



合同企業説明会

本校では、求人をお待ちしている企業を招き、企業説明会を開催しています。仕事の内容を直接聞くことで、就職後のイメージを深めます。さらに、県内外の企業説明会にも参加しています。



その他の支援

資格取得支援

企業や社会で必要となるスキルを身につけるため関連する資格を取得するよう、全校的に指導しています。

社会人になるために

コンプライアンス（交通安全、人権、薬物乱用防止等）、健康管理、労働法制等についての研修を行っています。

学力支援

入学時から数学や一般常識などについての講座を開催し、エンジニア・社会人として必要となる学力を習得・定着させるための支援を行っています。



四年生大学への編入制度

さらに深く学びたいという方には、四年生大学への編入を選択することもできます。

九州職業能力開発大学校への合格実績多数

令和8年より、大分大学理工学部への編入学を実施予定

※過去3年の実績（令和6年卒業生 2名）（令和5年卒業生 2名）（令和4年卒業生 2名）

※構造改革特別区域計画の認定申請中

大分県立工科短期大学校
OITA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒871-0006 大分県中津市東浜407-27
TEL 0979-23-5500(9:00～17:00 土日祝日を除く)
FAX 0979-23-7001
https://www.oita-it.ac.jp

ホームページ インスタグラム



機械システム系

MECHANICAL SYSTEMS

ものづくりの
プロフェッショナルになれる



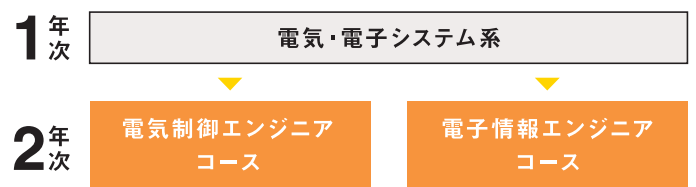
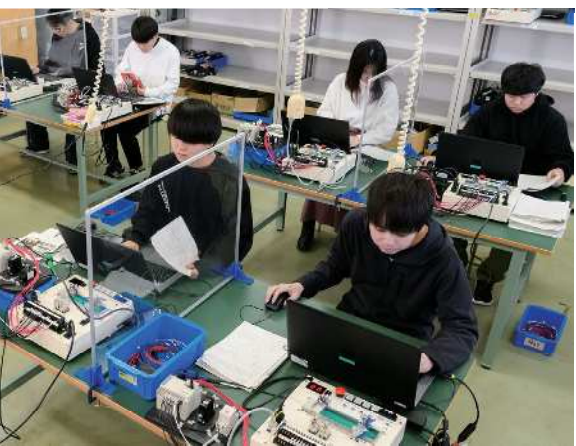
電気・電子システム系

ELECTRICAL & ELECTRONIC SYSTEMS

次世代を担う
「エンジニア」の未来へ



私たちの生活には、電気自動車、家電製品やスマートフォンなど電化製品があふれ、電気がある暮らしが当たり前となっています。みなさんはそれがどのようにして動いているか知っていますか？電気を使って車が動く？コンピュータの計算が速いのは電子のおかげ？それを知りたいはありませんか？「電気・電子システム系」では電気・電子に関する基本的な力をしっかり身に付け、電気・電子・制御・情報分野において幅広く活躍できるエンジニアを育成します。



2年次からは2つのコースに分かれ、より専門知識を深めていきます。

電気制御エンジニアコース

専門知識を武器に産業を支える
エンジニアへ



「電気制御エンジニアコース」ではFANシステムを構築できるシステムインテグレートとしての基礎を身に付け、最後にメカトロニクス実習装置を使用し、FANシステムを構築します。

電子情報エンジニアコース

IoT、ビッグデータ時代に
求められるエンジニアを養成



「電子情報エンジニアコース」ではアナログ・デジタル電子回路の設計からプリント基板製作、動作解析までの一連の流れを総合的に学習し、次世代のエンジニアを目指します。

STUDENT INTERVIEW 在学生の声

私は、高校時代に「将来にも通用する技術を身につけたい」「専門的な技術を学びたい」と考え、工科短期大学のオープンキャンパスに参加しました。実際のキャンパスの様子を見たり、先生や先輩から授業や実習について直接お話を聞いたりしたことで、ここでなら確かな技術を習得できると確信し、進学を決めました。また、両親からの勧めも進学を選択する上で大きな支えとなりました。私は普通科高校からの進学でしたが、専門分野を学ぶにつれて「もっと知識や技術を深めたい」という思いが強くなりました。実習や授業を通じて得た知識をさらに発展させたいと考え、今後は九州職業能力開発大学の応用課程へ進学することを決めています。工科短期大学を卒業すれば、すぐに社会で活躍する道もありますし、私のように進学という選択肢もあります。大切なのは積極的に学び、挑戦することです。これから入学する学生の皆さんは、さまざまなことに興味を持ち、新しいことにどんどん挑戦してください！



電気・電子システム系の
詳細はコチラから

卒業生の主な就職先

大分キャンノン(株)、(株)エリア、(株)デンケン、(株)大和電業社、
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、柳井電機工業(株)



建築システム系

BUILDING SYSTEMS

人々の暮らし、地域・社会を支える、
建築のプロフェッショナルになる



建築には、建築計画、建築生産、建築環境、建築構造の4つの専門分野があり、それらの基礎から最新の技術までを、講義と実習を組み合わせたカリキュラムで学習し、将来建築のフィールドで活躍できる人材を育成します。建築は、人の暮らしや社会、文化などと密接に関わっています。だからこそ建築物をつくるには、建てる場所や環境、材料、構造、費用、暮らし人の要望など、さまざまなことを理解し、カタチにしていける必要があります。



2年次からは2つのコースに分かれ、より専門知識を深めていきます。

プランナーコース

企画・提案力、実践力に長けた
プランナーを養成



「プランナーコース」では基本設計から実施設計に至る一連の設計プロセスを学び、提案力、実践力に長けたプランナーを養成します。

施工管理エンジニアコース

現場の責任者である、
ということ



「施工管理エンジニアコース」では品質や環境などに関する管理手法や工程表の作成方法、施工図の作図法や読図法などを習得し、建築現場で活躍できる施工管理エンジニアを育成します。

STUDENT INTERVIEW 在学生の声

高校2年生の時にオープンキャンパスに参加し、先生や先輩方の和やかな雰囲気と惹かれて工科短大への進学を決めました。建築システム系は1学年20人と少人数で、実習の工具や機器は一人ずつ専用のものが用意されています。先生にもすぐに質問できる環境が整っており安心して勉強に取り組むことができます。特に印象に残っている実習は、木造建築施工実習で模擬家屋を制作したことです。初めて使う工具での木材加工には失敗もありましたが、繰り返し作業を行ううちに精度が向上しました。班員と協力して完成させた時には大きな達成感を得ることができ、木造建築の内部構造についての理解も深まりました。さらに、実習で住宅のプランニングを行ったことをきっかけに、住宅建築に興味を持ちました。元々人と関わることが好きなので、将来は住宅を建てたい方の理想を叶え、良い住環境を提案できる仕事に就きたいと考えています。そのために専門性を磨き、打ち合わせから設計、提案まで一貫して行えるようになりたいです。



建築システム系の
詳細はコチラから

卒業生の主な就職先

(株)アイビック、梅林建設(株)、(株)佐伯建設、(株)大有設計、(株)TOPHOME、
森田建設(株)、(株)池下設計、三越商事大分(株)



機械システム系

短大で学んだおかげで知識の量が増え、
仕事の幅が広がりました。

Q.現在の仕事内容は？

私の現在の仕事内容は金型保全です。具体的には車のドアやルーフ等を作るための金型のメンテナンスや、不具合の改修や改良、改善などを主に担当しています。ラインオペレータが不具合を発見したら自分達が、何が原因でその不具合がおきているかを紐解いて改善をしています。

Q.本校で学んで良かった点は？

工科短は、実習が多く、手を動かすことで、理論だけでは得られない実践的なスキルや考え方、機械・検査器具の使いなどが仕事において活かされています。短大で勉強すると、持っている知識の量が増え、仕事の効率、面白み、要領なども変わってくると思います。

就職先:ダイハツ九州株式会社

岡本 和也さん 大分県/中津北高校出身

実践に近い授業が多く、
社会に出て役立つ資格の取得ができる

Q.現在の仕事内容は？

QA部の部品 QA課に所属し、品質保証業務を行っています。一眼レフの新製品の立ち上げでは弊社が発行する図面に対し、取引先から購入する部品が図面通りに仕上がっているか、三次元測定機や工具顕微鏡、ピンゲージ等、さまざまな計測機を使って測定して判定しています。

Q.本校で学んで良かった点は？

私は電子システム系でしたが、2年生になるとシーケンス制御やCAD等、あとパワーポイントで部品に対して調べて発表するという機会が多く自分で考える事や調べる、やってみる、つくってみるという授業が数多くありました。社会人になっていろいろな自分で考えて発言したり、報告連絡相談等をするのに、短大で学んだことがすごく役に立っていると感じています。

電気・電子システム系



就職先:大分キャンノン株式会社

吉田 千穂さん 大分県/鶴崎高校出身

建築システム系

目標だった施工管理業務のことが
詳しく勉強できて良かったです。

Q.現在の仕事内容は？

住宅の施工管理業務をやっています。家が完成するまでの工程管理がメインで、材料の手配や予算管理、品質チェックなど住宅建築に関する業務全般を管理する仕事です。

Q.本校で学んで良かった点は？

今は木造住宅を建てる仕事ですが、短大では木造、鉄筋コンクリート造などの工法の他にも施工管理、コーディネーター、設計などを全般的に習うので色々な知識がすべてとても勉強になりました。2年生からは2つのコースに分かれ、自分の目標に合ったコースで専門的な知識や技術を学ぶことができて良かったです。

就職先:株式会社 栄都

平島 数大さん 大分県/
中津南高校那馬深校出身

私たちの身の周りには自動車やスマートフォンを作るには、機械が必要になってきます。それらの製造には、人間が考え(設計)、部品を作り(加工)、組立てた機械が用いられます。また、機械は作って終わりではありません。人間が整備(保全)してはじめて使い続けることができます。機械システム系では、製造業の現場において求められる「ものづくり」を担うエンジニアを育成します。



2年次からは2つのコースに分かれ、より専門知識を深めていきます。

デジタルエンジニアコース

競争に勝ち抜ける
デジタル技術を身につける

「デジタルエンジニアコース」では基本となるデジタルツールを利用したものづくりの基礎や生産設備における保守・保全技術を学び、デジタル化された生産現場に即応できる人材の育成を目指します。



金型エンジニアコース

最新技術×熟練の技
なくてはならない金型を学ぶ

「金型エンジニアコース」では金型技術の中でも、金属部品を作り出す「プレス技術」とプラスチック部品を作り出す「射出成形技術」の基礎を身に付け、第一線で活躍する人材を育成します。



STUDENT INTERVIEW 在学生の声

私は工科短期大学校に入学し、機械の設計から加工・組立までの「ものづくりの一連の流れ」を実際に体験しました。中でも、3DCADの授業が特に面白く、設計の仕事に興味を持つきっかけとなりました。その後、国家検定に挑戦し、資格取得を通じてさらに設計への関心が高まりました。さらに、設計スキルを競う大会にも挑戦し、達成感を得るとともに自信をつけることができました。入学当初は、図面を見ても形を想像することが難しかったのですが、たくさんの図面に触れるうちに、徐々にイメージできるようになりました。設計の仕事は、自分が考えたことが形になることが魅力です。将来は、自分の作りたいものを設計し、実現できるようにしたいと考えています。工科短大では、理論だけでなく実習が豊富で、実際に「見て・触って・学ぶ」環境が整っています。興味を持って取り組みれば、多くの経験を積むことができ、新しい発見や成長につながると思います。



機械システム系の
詳細はコチラから

卒業生の主な就職先

(株)カンセツ、ダイハツ九州(株)、日産自動車九州(株)、ENEOS(株)、(株)吉野工業所、
(株)三井ハイテック、トヨタ自動車九州(株)、Design City Japan(株)

